

鳥取市政懇話会（第5回）全体会議事概要

1 日 時 平成22年8月31日（火）午後2時～2時45分

2 会 場 鳥取市役所本庁舎6階全員協議会室

3 出席者 鳥取市政懇話会委員（34名）
市長、副市長、防災調整監、都市整備部長、事務局

4 会議概要

（1）市長あいさつ

- 今年度になってから様々な大きな課題についての取組を進めている。
 - ・環境大学の公立大学課題に取組む。
 - ・中心市街地の活性化に取組む。
 - ・安心・安全とも関係の深い庁舎の耐震化の問題については、できるだけ年度内に結論が出るように、精力的に検討を進める
 - ・先日、延吉市で開催された「環日本海拠点都市会議」に出席した。対岸諸国との経済・観光交流などを積極化していき、地域の雇用・地域経済の活性化につなげたい。
- 本日は、「地域交通・防災システムの充実について」がテーマである。
 - ・「防災体制の充実・強化と、災害に強い安心・安全な暮らしの実現」と「利便性が高く効率的な新しい総合公共交通システム」についてご意見をお聞きしたい。

（2）会長あいさつ

「防災体制の充実・強化及び災害に強い安心・安全な暮らしの実現」と「利便性が高い効率的な総合公共交通システム」について、みなさまの率直、活発な議論をお願いしたい。

（3）議事概要

①防災体制の充実強化及び災害に強い安全・安心な暮らしの実現について【防災調整監】

防災体制の充実強化について 本市の防災対策と組織体制の強化

- 背景・現状
 - ・本市では、市民の安全・安心の確保を最優先施策と位置づけ、重点的に推進している。
 - ・平成18年には地域防災計画の全面改訂を行い、防災体制の充実整備に取り組んでいる。
 - ・消防団についても、組織と装備の充実強化を図るとともに、多くの取り組みを推進し

ている。

- ・平成21年1月に「鳥取市防災関係機関情報連絡会」を設置し、防災機関及びライフライン機関相互の連携強化にも努めている。

○事業概要

- ・地域防災計画の見直し ・災害時等緊急情報伝達網の整備 ・連携備蓄体制等の整備
- ・災害時相互応援協定締結の取組推進 ・鳥取市総合防災訓練等の実施
- ・消防団の組織体制等の充実 ・災害時の避難所等の整備 ・国民保護に対する取組み

災害に強い安全・安心な暮らしの実現について 行政と地域が連携した防災体制の推進

○背景・現状

- ・各地域において「自助」、「共助」の体制ができていることが大切。
- ・本市における自主防災会組織の組織率は、93.4%（平成22年4月1日現在）である。
- ・本市としても、「公助」の観点から自主防災会の活動を支援する制度等を設けているが、町内会、民生・児童委員、社会福祉協議会等との連携や協働による取り組みは欠かさない。

○事業概要

- ・防災コーディネーターによる活動支援 ・自主防災組織活動に対する助成支援
- ・防災指導員、防災リーダーによる地域防災体制の整備支援
- ・災害時要援護者に対する地域での取組支援 ・防災マップ等の作成に向けての取組支援

②利便性が高く効率的な新しい総合公共交通システムの構築について【都市整備部】

利便性が高く効率的な新しい総合公共交通システムの構築

→平成24年度に一部地域での実証運行を目指す！！

○背景・目的

- ・本市の公共交通の現状は、利用者の減少が減便や廃止などサービス低下を招き、サービス低下がさらに利用者の減少を招くという悪循環となっている。
- ・その結果、いわゆる買い物難民など移動困難者が増加する一方、また、高齢者がクルマに頼らざるを得ないために高齢運転者による交通事故が多く発生している状況。
- ・安全に安心して移動できる社会をつくるためには、現在の公共交通体系を抜本的に見直し、利便性が高く効率的な新しい総合公共交通システムを構築する必要がある。
- ・このため、現状のバス路線網を再編し、鉄道、タクシー、自転車等、他の交通手段との連携を図り、有識者、交通事業者、行政が一丸となって検討協議し、実証運行を行なう。

○事業概要

平成22年度

バス路線網の再編と、鉄道、タクシー、自転車の交通環境整備も含めた総合的な施策として、「鳥取市公共交通利用促進総合再編実施計画」を策定

平成23年度

○策定した実施計画に基づき実証運行の準備

- ・乗継拠点(プラットホーム)の整備
- ・交通系ICカードシステム整備
- ・コミュニティサイクル、駐輪場つきバス停整備、等

平成24年度

○南部地域での実証運行実施

○他地域での実証運行計画策定

平成25年度～

○順次、他の地域での実証運行を実施（平成24年度実証運行が円滑に進んだ場合）

○本格導入（実証運行の結果を踏まえて検討）

③意見交換

●委員

- ・判断力、行動力に優れた防災リーダーを養成して頂き各地域に配置してほしい。
- ・災害等の情報伝達システムを確立していただきたい。
- ・渋滞対策について提案する。マニラの例で走行規制しているが導入してはどうか。

○防災調整監

- ・防災リーダーは、昨年度21年度から講習会を開いており、現在57名登録している。
- ・防災リーダーの中から防災指導員を地区で推薦していただき、全61地区に配置する計画。
- ・自主防災会・コミュニティ活動が非常に重要である。

○都市整備部長

- ・マニラの例は、交通需要マネジメントという手法で、一般的には渋滞対策の手法。
- ・本市の場合、まず多分公共交通のシステムの利便性を高め、その上でこのような手法を導入するかどうかについて市民合意を得るという順序がいいと考える。

●委員

- ・総合公共交通システムだが、問題として、支線に行くまでの交通の確保もあるので考慮してほしい。

●委員

- ・市から、大型マンションの方も地元の町内会に参加するように促してほしい。

- ・自警団に対する補助金を改善してほしい。
- ・町内会に、防災器具・救助するための機械器具等の備蓄倉庫を準備していただきたい。

●委員

- ・災害は自分だけではなく周りの人にどれだけ手を貸してあげられるかということ。そう考えれば地域の力はもっと強くなる。
- ・汽車が遅れた時の対応等、バスと鉄道の連携をしっかりとしてほしい。

○市長

- ・バスと鉄道の接続は大事な課題。徹底するよう要請をする必要があると思う。
- ・防災についても地域の中で考えていくことが必要。協働のまちづくりの中で鳥取市の支援がより有効に活用できる。

(4) その他

なし

5 配布資料

【配布資料】

- 防災体制の充実強化及び災害に強い安全・安心な暮らしの実現について 資料1
- 利便性が高く効率的な新しい総合公共交通システムの構築について 資料2